

FY2025 3Q FINANCIAL RESULTS

2025年12月期第3四半期 決算説明資料

株式会社robot home（証券コード: 1435）

robot**home**

In technology, we are changing homes
and changing the world.

©robot home Inc. all rights reserved.

アジェンダ

1. 2025年12月期第3四半期 決算概要

2. robot homeグループの成長戦略

3. 補足資料

1. Financial Results

2025年12月期第3四半期 決算概要

会社概要

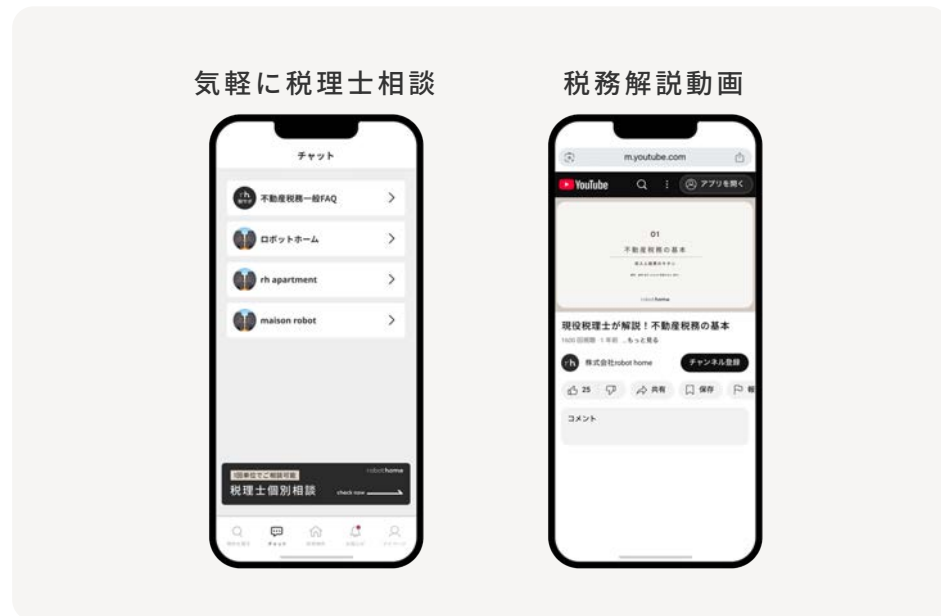
社名	株式会社robot home
本社	東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 9階
設立	2006年1月23日
代表者	代表取締役CEO 古木 大咲
資本金	74億70百万円（資本剰余金を含む）
従業員	245名（連結ベース / 正社員 / 2025年9月末時点）

事業内容	AI・IoT事業 robot home事業
グループ会社	株式会社 rh labo 株式会社 rh investment 株式会社 rh maintenance 株式会社 rh warranty 株式会社 アイ・ディー・シー 株式会社 Next Relation

決算ハイライト

- デジタル資産管理プラットフォーム「robot home」を強化する新機能をリリース
- Great Place to Work® Institute Japanによる「働きがいのある会社」への認定
- 連結売上高 10,926百万円、前年増減率 37.3%増
- 連結営業利益 309百万円、前年増減率 56.2%減

デジタル資産管理プラットフォーム「robot home」の機能を強化



ウェルスコンサルティング機能の強化

当社がご紹介する税理士への個別相談をアプリから問い合わせることが可能になりました。不動産の購入・保有に関する税務相談はもちろん、相続税対策など長期的な資産戦略をお考えの方のニーズにも沿ったソリューションの提供が可能になります。

さらに、税理士監修の税務学習動画コンテンツを定期配信することで不動産投資に関連した周辺領域の付加価値提供を強化いたします。



不動産投資のAIレコメンド機能

当社は自社開発のアルゴリズムによってAIが収益物件をレコメンドする「robot home AI」を新たにリリースいたしました。

この機能では、顧客の属性情報および保有不動産等の資産とこれまで当社に蓄積されたビッグデータに基づいてスコアリングし、その結果をもとに当社が販売する収益物件の中から顧客一人ひとりに最適な物件をご提案。不動産投資家のより長期的な資産管理を総合的にサポートします。

「働きがいのある会社」認定のお知らせ

当社は、従業員の意識調査を行う世界的な機関である Great Place to Work® Institute Japan(以下、GPTW Japan) が実施する調査において、2025 年「働きがいのある会社」認定企業として選出されました。



評価のポイント

休暇が取りやすい

全ての従業員がのびのび働くことができ、キャリアを築ける環境づくりにも着手する当社では、有休消化率や産休・育休取得率において高い水準を達成。完全週休2日をはじめとしたメリハリのある勤務体系も、従来の不動産業界ではあまり見られなかった取り組みの一つです。

人種、性別、性的指向などに関係なく正当に扱われている

社員の特性や能力を互いに認識し高めあい、それぞれの活躍が促されることで、お客さまに提供できる価値が最大化できるよう多様な人財の活躍を支援・強化。女性の役員や管理職も多く活躍しております。

報告セグメント

AI・IoT事業

AI・IoT開発販売、及び導入支援サービス
DX総合支援サービス

robot home事業

デジタル資産管理プラットフォーム
「robot home」の運営

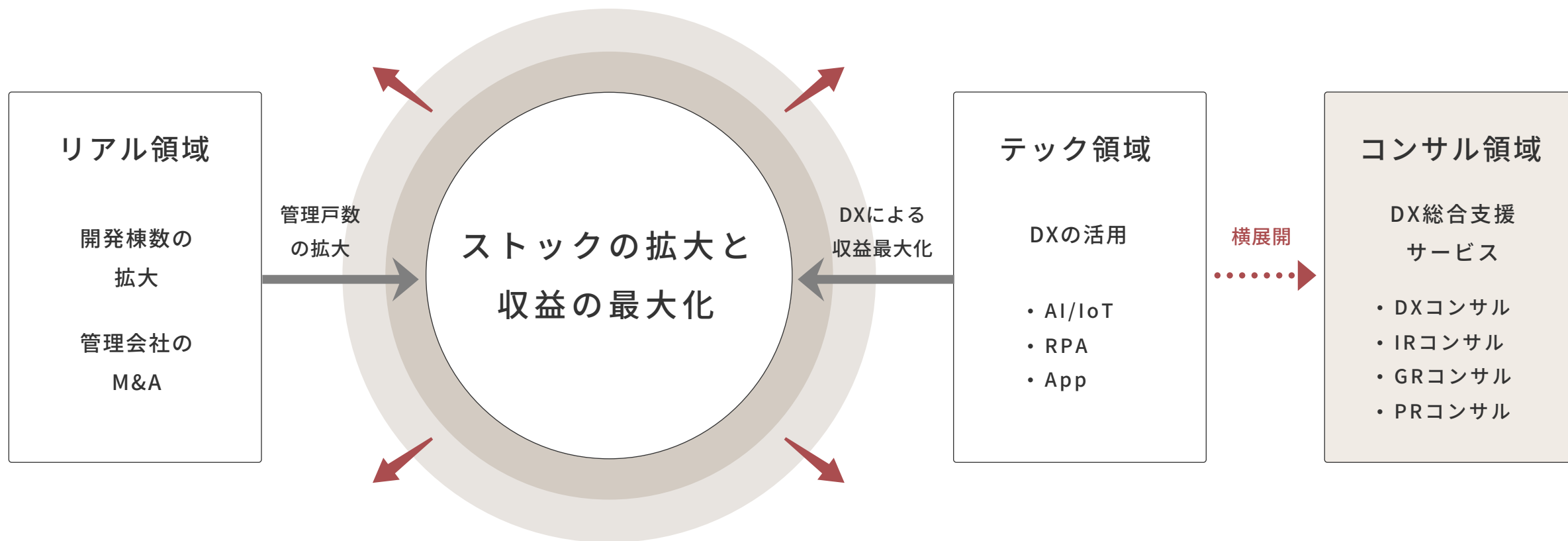
リアル×テクノロジーの知見をDX領域へと展開

robot home事業

不動産テック

AI・IoT事業

DX開発・外部支援

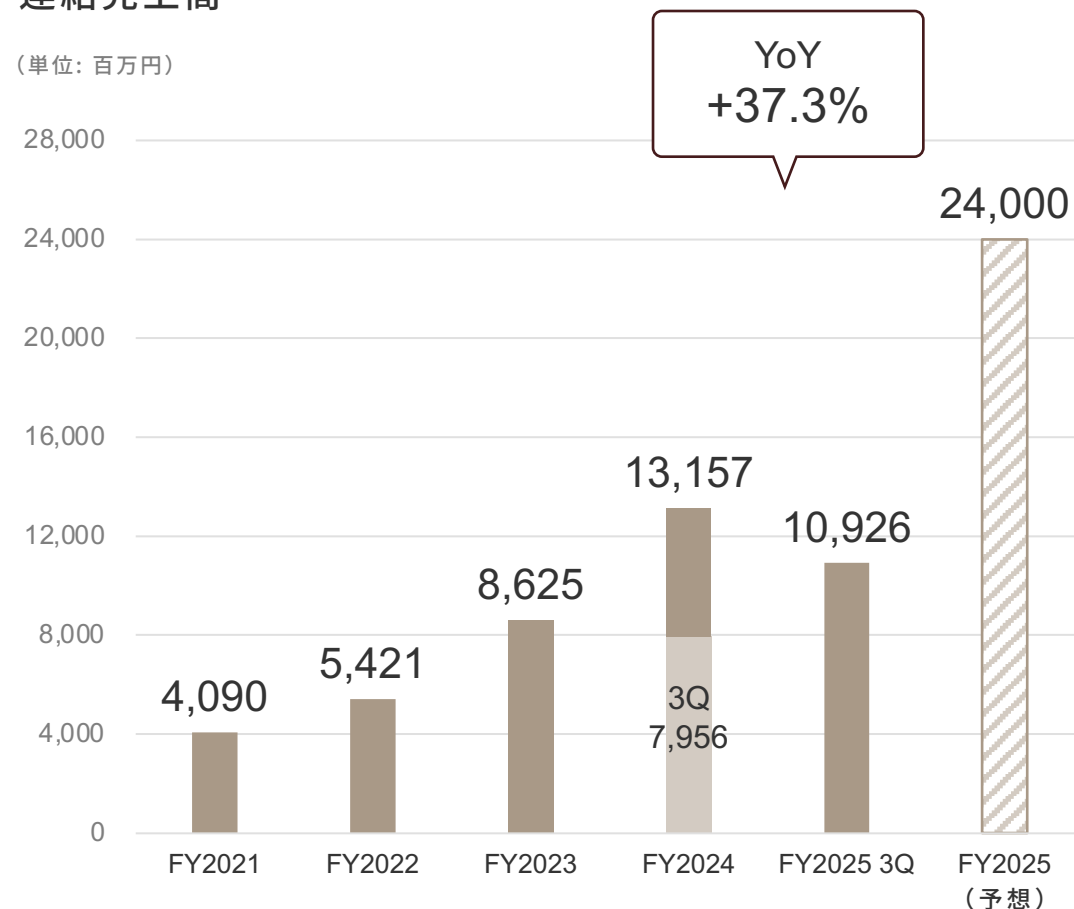


robot homeグループの業績推移

robot homeグループのFY2025 3Q連結売上高は10,926百万円（前年同期比+37.3%）。連結営業利益は309百万円（前年同期比▲56.2%）。

連結売上高

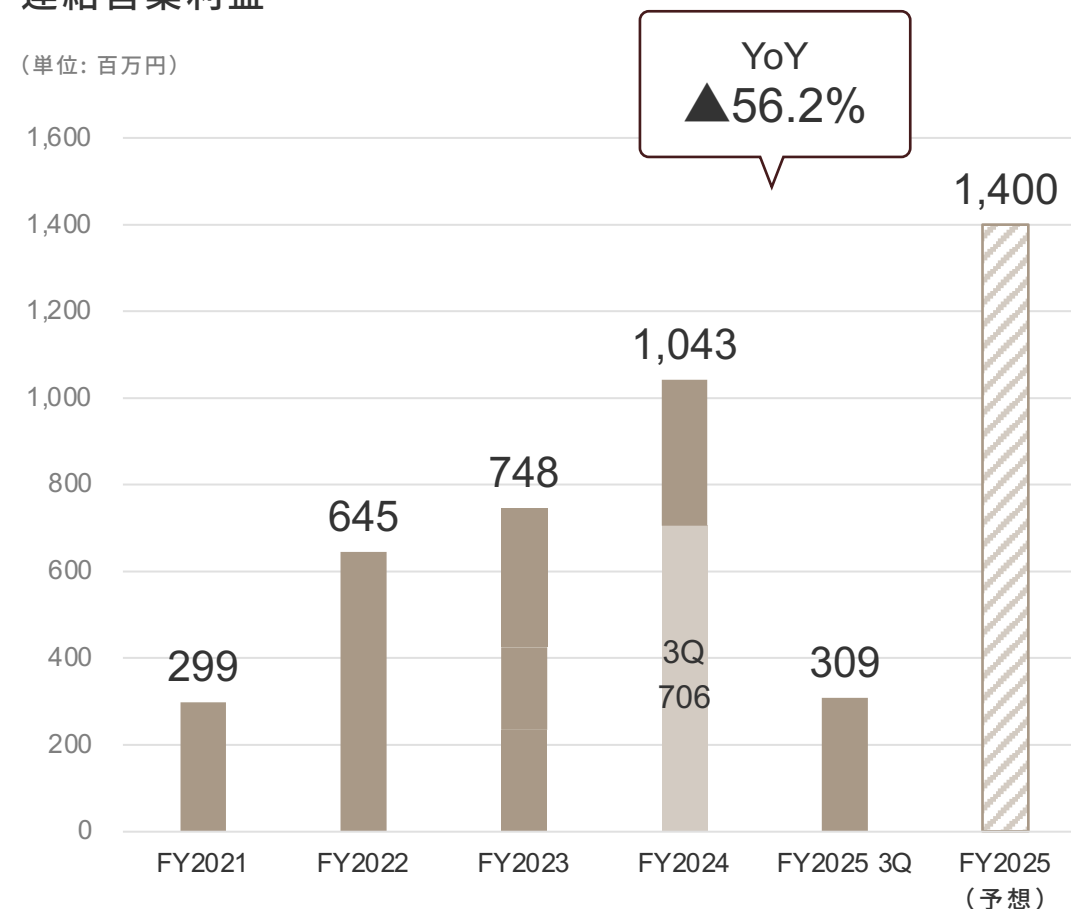
（単位：百万円）



※FY2022以降については、新収益認識基準を適用しております。

連結営業利益

（単位：百万円）



連結損益計算書

robot homeグループのFY2025 3Q連結売上高は10,926百万円（前年同期比+37.3%）。連結営業利益は309百万円（前年同期比▲56.2%）。

（単位：百万円）

	累計期間		
	FY2024 3Q	FY2025 3Q	増減率
売上高	7,956	a 10,926	37.3%
AI・IoT事業	463	506	9.4%
robot home事業	7,511	10,439	39.0%
売上総利益	3,272	3,085	▲5.7%
AI・IoT事業	338	357	5.7%
robot home事業	2,946	2,746	▲6.8%
販管費及び一般管理費	2,565	2,776	8.2%
営業利益	706	b 309	▲56.2%
AI・IoT事業	164	209	27.3%
robot home事業	1,758	1,472	▲16.3%
経常利益	689	368	▲46.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	661	327	▲50.5%

	会計期間		
	FY2024 3Q	FY2025 3Q	増減率
売上高	3,196	c 5,912	85.0%
AI・IoT事業	173	282	62.6%
robot home事業	3,028	5,637	86.2%
売上総利益	993	1,200	20.8%
AI・IoT事業	125	189	50.7%
robot home事業	871	1,021	17.2%
販管費及び一般管理費	851	964	13.2%
営業利益	142	d 236	66.2%
AI・IoT事業	57	143	151.3%
robot home事業	473	577	22.0%
経常利益	129	162	25.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	130	149	14.5%

- a
売上高（累計期間）

フロー領域における新築物件の単価増・新築物件の土地先行決済22棟分の引渡しに加え、ストック領域の管理戸数の積み上がりと戸あたり売上高の増加の両軸の成長により前年同期比+37.3%にて進捗。
- b
営業利益（累計期間）

前年の大型棚卸資産の売却による影響額（659百万円）を除くと増益。土地の先行決済およびストック領域の戸あたり利益の向上により利益の積み上げを行いつつ、戦略的なDX・人材投資を継続。
- c
売上高（会計期間）

物件引渡件数37件（昨年対比+21件）に加えて、今期より開始した土地の先行決済によって資金の早期回収が可能に。それによる売上高の積み上がりも加速。
- d
営業利益（会計期間）

継続的なDX・人材投資を行いながらも、昨対比+66.2%の増益にて着地。

連結貸借対照表

開発棟数の伸長に合わせて現金及び預金並びに有利子負債の活用を行いつつ、財務状態は健全な状態を継続。実質無借金経営、自己資本率59.0%

(単位: 百万円)	FY2024	FY2025 3Q	増減額
流動資産	9,823	12,076	2,252
現金及び預金	6,501	5,080	▲1,421
棚卸資産	2,755	5,947	3,192
固定資産	3,409	4,014	605
資産合計	13,233	16,091	2,858
負債	3,922	6,597	2,674
有利子負債	1,321	3,123	1,802
純資産	9,310	9,494	183
負債・純資産合計	13,233	16,091	2,858

中期経営方針

フロー領域のトップライン成長に取り組み、ストック領域への流入強化により、さらなる盤石な経営基盤を構築。

フロー領域

トップライン成長

開発棟数の増加

オーナーサポート/ アプリの強化

ストック領域
への流入強化



ストック領域

盤石な経営基盤の維持

高収益体質の維持

賃貸管理を中心としたストック案件の増加

中期経営方針（数値目標）

フロー領域のトップライン成長に取り組み、ストック領域への流入強化により、さらなる盤石な経営基盤を構築。

	FY2024	FY2025	FY2026	FY2027	
フロー領域	開発棟数	60棟	100棟	140棟	200棟
	フロー売上高（※1）	90億	150億	210億	300億
ストック領域	増加管理戸数（年度）（※2）	600戸	1,000戸	1,400戸	2,000戸
	増加管理戸数（累計）	600戸	1,600戸	3,000戸	5,000戸
	ストック粗利増加額（年度）（※3）	0.54億	0.9億	1.26億	1.8億
	ストック粗利増加額（累計）	0.54億	1.44億	2.7億	4.5億

【算出前提条件】（※1）新築1棟あたり1.5億円の売上高 （※2）新築1棟あたり10戸の仕様 （※3）戸あたり90,000円の粗利額

FY2025業績予想について

当初の計画に変わりはなく順調に推移。

(単位: 百万円)

	FY2024 (実績)	FY2025			
		予想		実績	
		通期	前年増減率	3Q	進捗率
売上高	13,157	24,000	82.4%	10,926	45.5%
営業利益	1,043	1,400	34.1%	309	22.1%
経常利益	1,018	1,350	32.6%	368	27.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	912	1,100	20.5%	327	29.8%

2. Growth Strategy

robot homeグループの成長戦略



AI / IoT Business

AI・IoT事業

AI・IoT事業のビジネスモデル

収集データを最大限に活用し、プラットフォームの活性化を促進。新たな価値を創出。



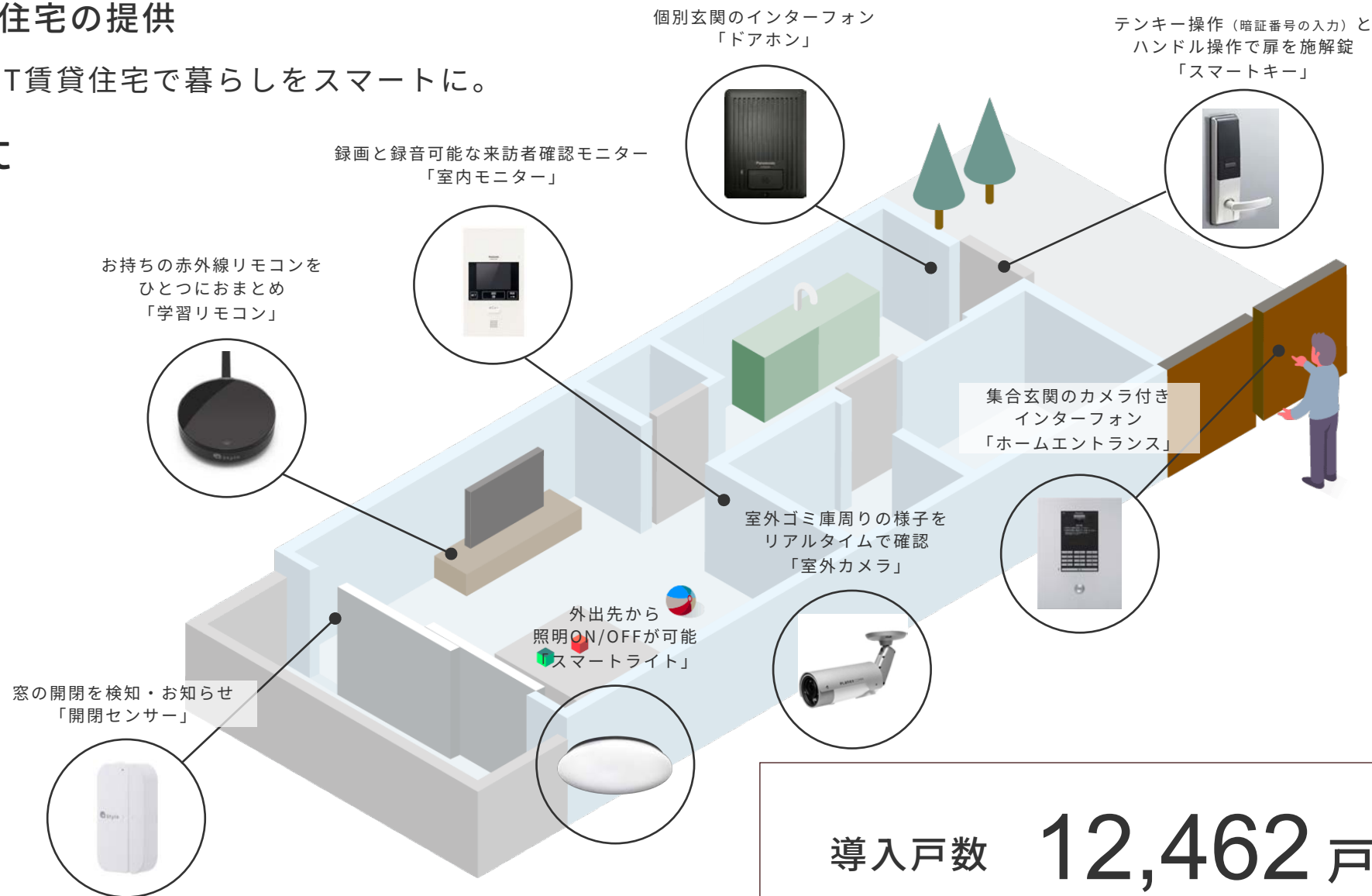
次世代のDX化された賃貸住宅の提供

スマホひとつで操作できるIoT賃貸住宅で暮らしをスマートに。

robot home kit



※間取りはサンプルです。

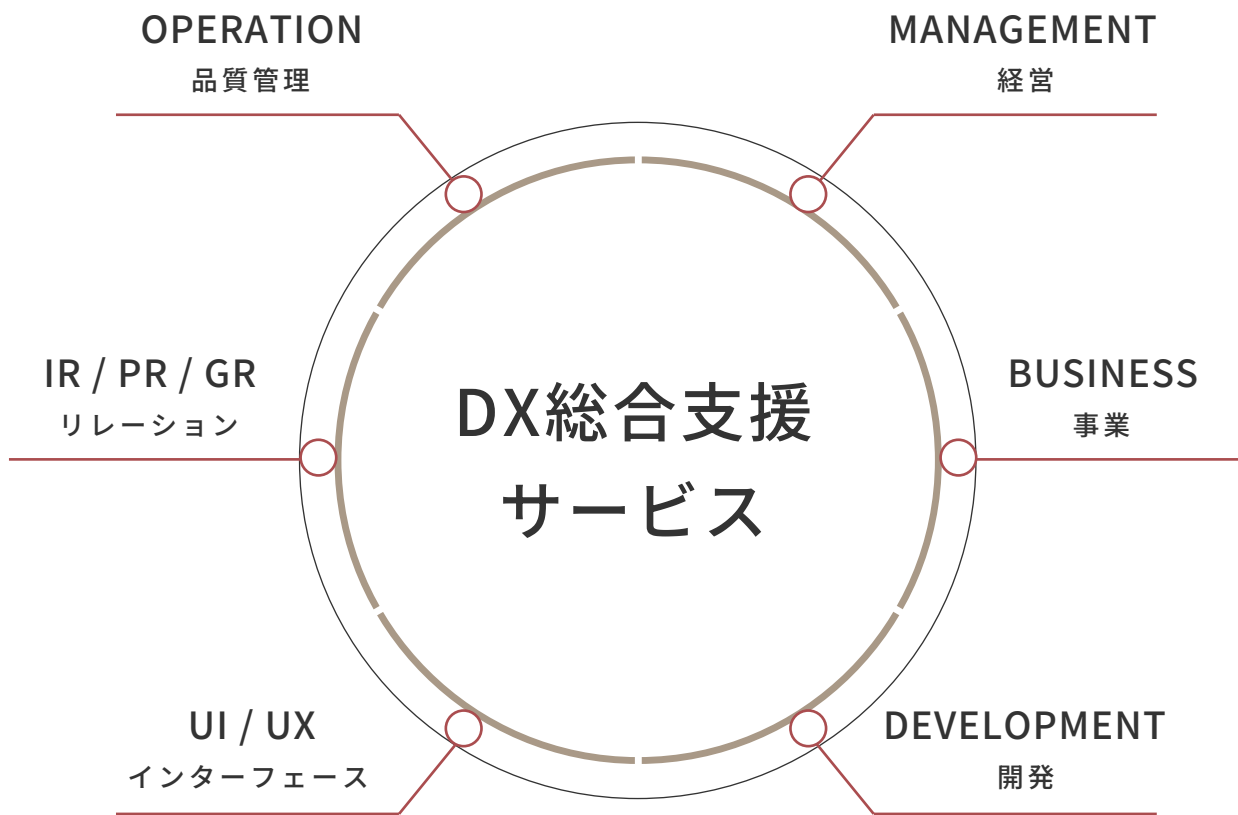


導入戸数 **12,462 戸**

（2025年9月末時点）

DX総合支援サービス

AI・IoT×不動産の様々な自社プロダクトを開発・運用してきた実績を活かしDX総合支援サービスを提供。



提供企業一覧



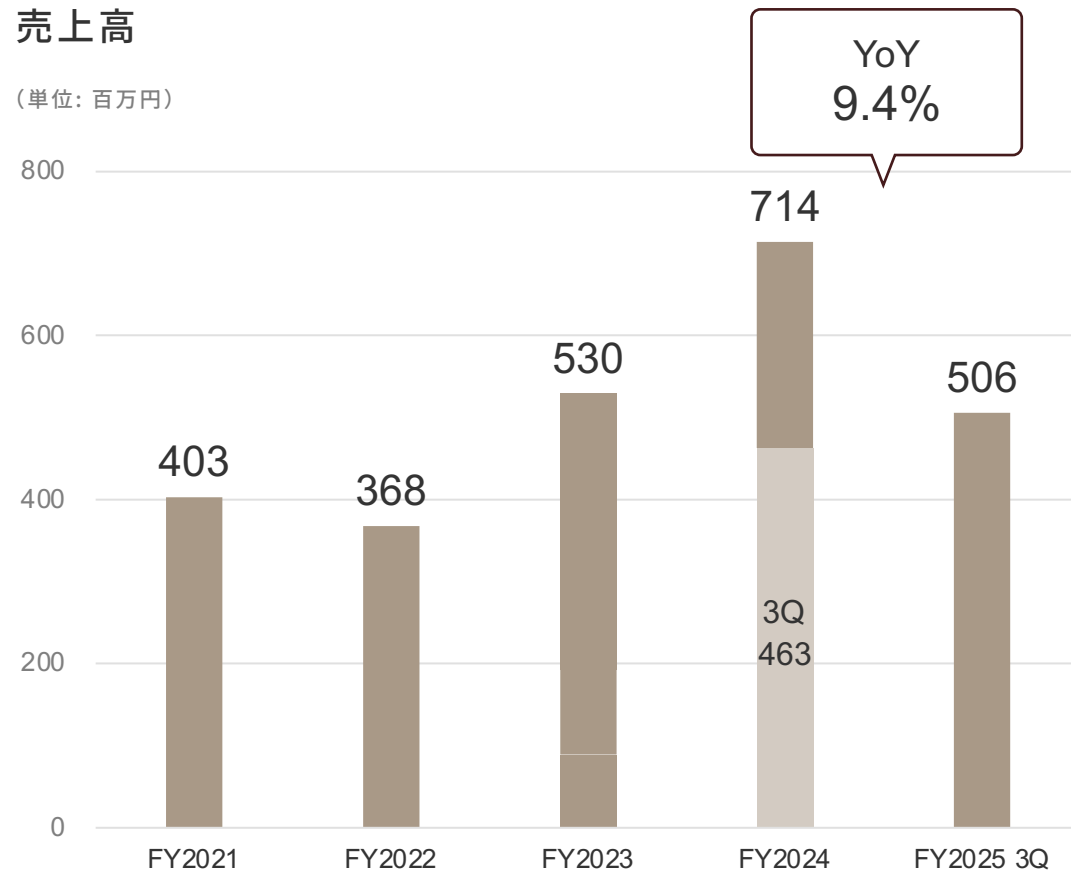
※掲載許諾を得ている企業のみ掲載しております

AI・IoT事業の業績推移

AI・IoTセグメントのFY2025 3Q売上高は506百万円（前年同期比9.4%）。営業利益は209百万円（前年同期比27.3%）。

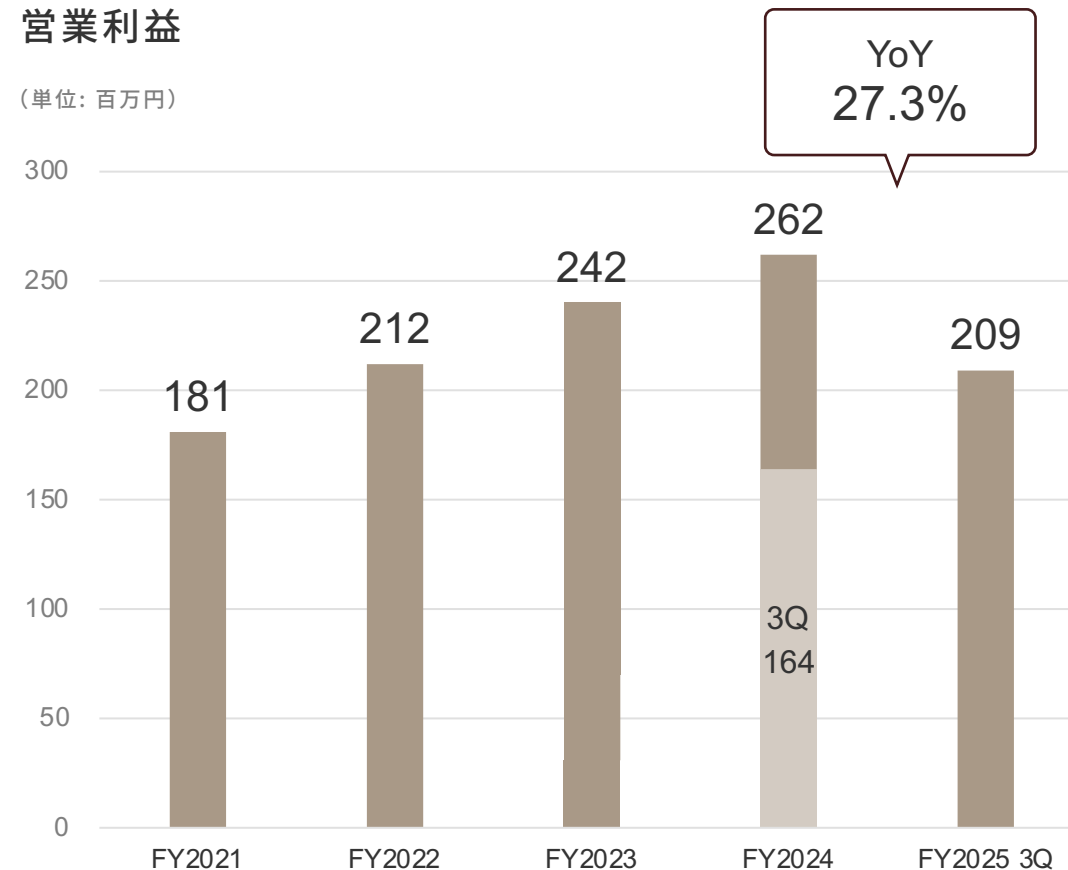
売上高

（単位：百万円）



営業利益

（単位：百万円）



※FY2022以降については、新収益認識基準を適用しております。

AI・IoT事業の業績

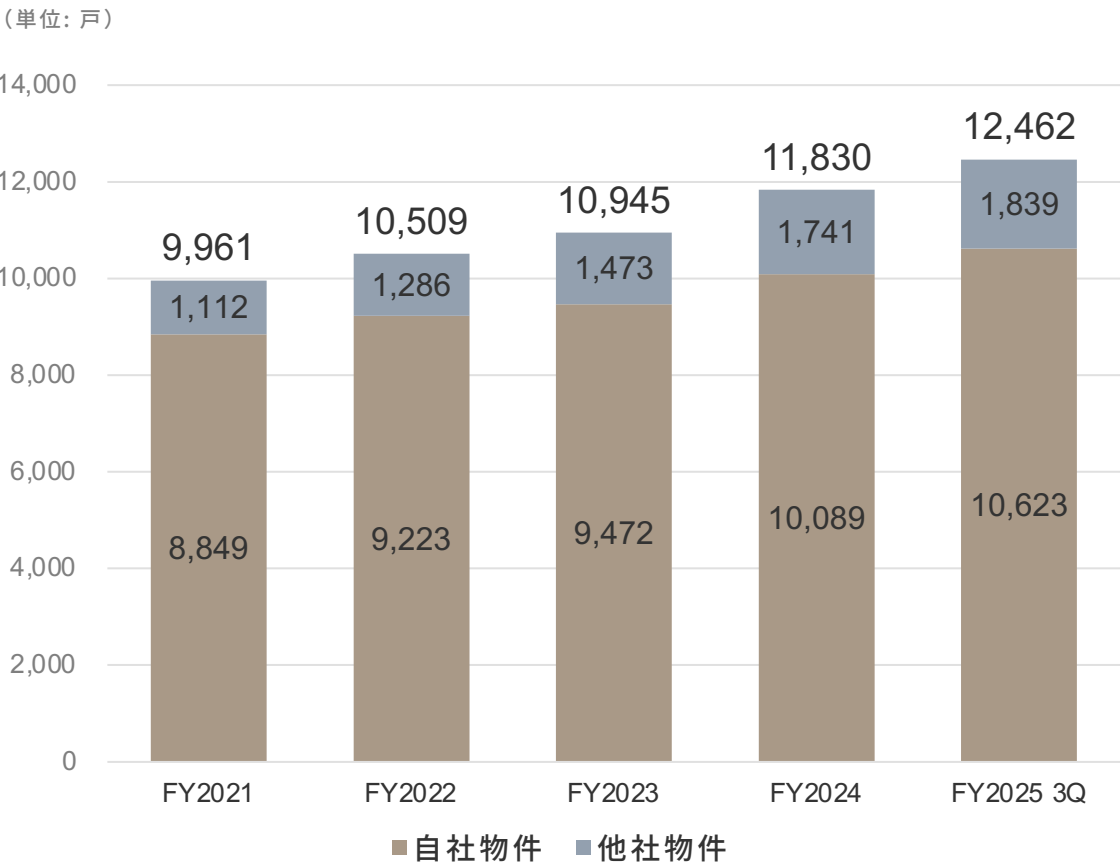
AI・IoTセグメントのFY2025 3Q売上高は506百万円（前年同期比9.4%）。営業利益は209百万円（前年同期比27.3%）。

（単位：百万円）

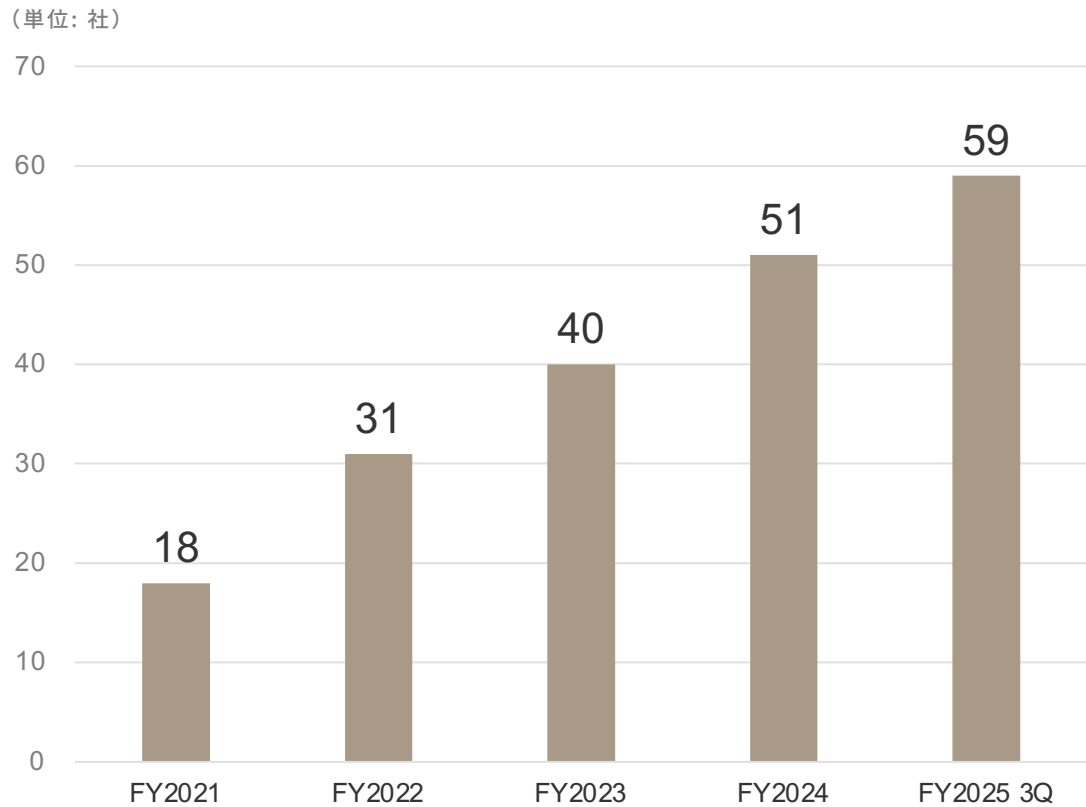
	累計期間			会計期間		
	FY2024 3Q	FY2025 3Q	増減率	FY2024 3Q	FY2025 3Q	増減率
売上高	463	506	9.4%	173	282	62.6%
売上総利益	338	357	5.7%	125	189	50.7%
販管費及び一般管理費	174	148	▲14.7%	68	45	▲33.1%
営業利益	164	209	27.3%	57	143	151.3%

AI・IoT事業のKPI

IoT導入戸数の推移



DX総合支援社数（累計）

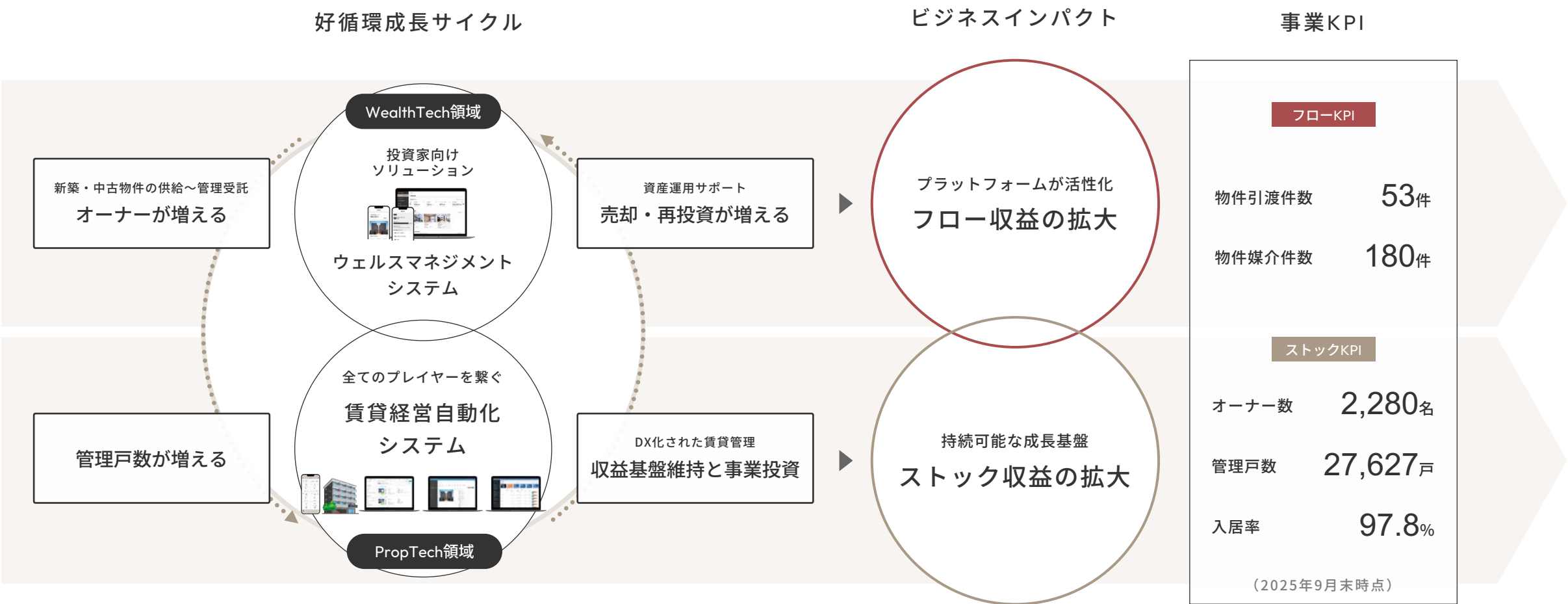


robot home Business

robot home 事業

robot home事業のビジネスモデル

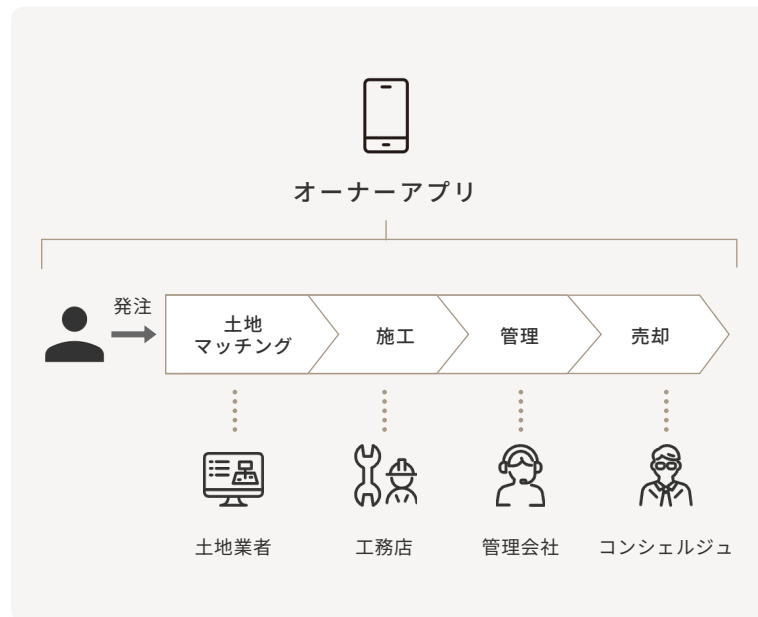
投資家に向けた資産形成ソリューションの提供によるストック収益、売却～再投資（又は追加購入）を経てプラットフォーム内流通がさらに拡大するという好循環成長サイクル。



開発モデルの進化による商品開発速度の向上とストック収益の強化

1. 建売モデル

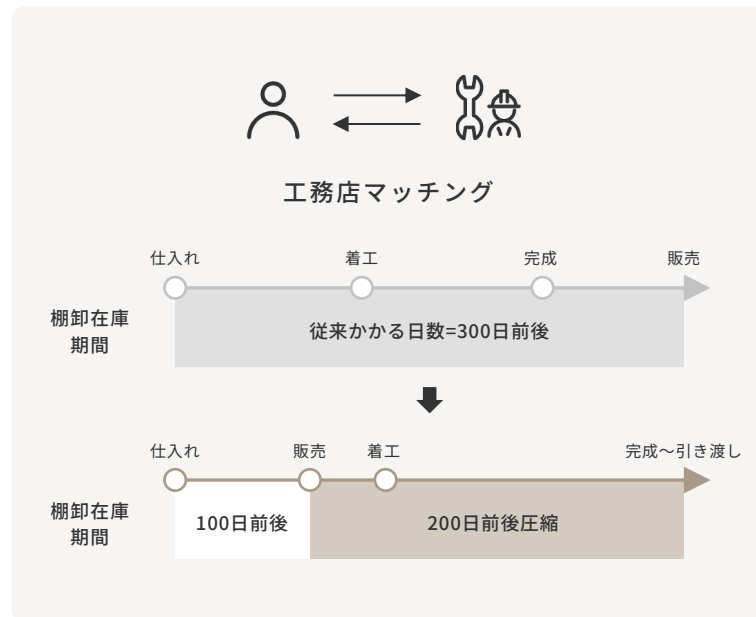
デジタル資産管理プラットフォームによる
一気通貫のサプライチェーン



➡ アプリの手軽さによる集客力と、建売による**原価コントロール**の優位性

2. 売建モデル

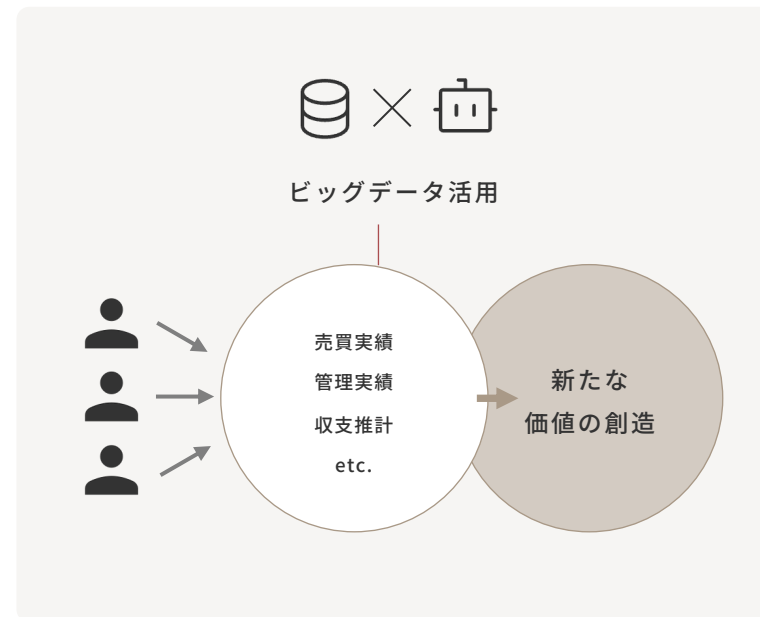
直接自分好みの工務店とマッチングできる
サプライヤーマッチングモデル



➡ 工務店直接マッチングによる**在庫回転率の向上**、及び**粗利益の向上**

3. 価値創造モデル

蓄積されたビッグデータを活用した価値創造
モデル



➡ さらなるオーナーサービス品質の向上と、**新たな価値創造**

不動産投資をテクノロジーで支援するデジタル資産管理プラットフォーム「robot home」を提供

オーナー様のスムーズな賃貸経営を支援。さらに管理会社やアセットの種類を問わず、保有不動産の一元管理も可能。

robot home

賃貸経営をワンストップで完結

物件の検討から購入、管理、売却まで一気通貫にサポート

賃貸経営に関する書類はクラウド管理

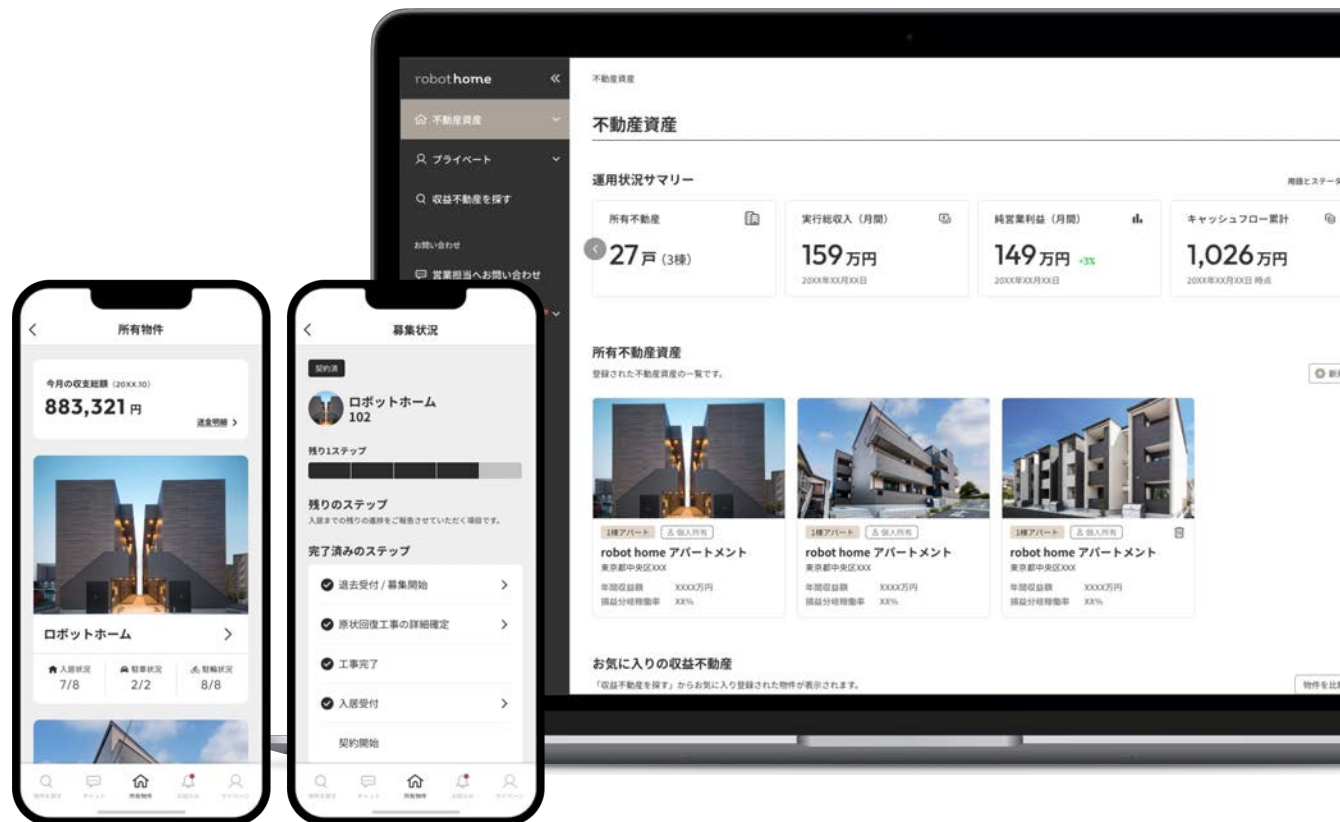
月々の収支レポートや契約書類はクラウドで管理するので、
ペーパーレスでスマートに賃貸経営いただけます

資産形成をサポートするチャット機能

資産形成や賃貸経営の不明点はチャットで担当者にすぐにご相談

保有資産の全体管理

管理会社やアセットの種類を問わず、お持ちの不動産をまとめて管理
さらに、不動産のプロがひとりひとりに沿った資産形成を支援



テクノロジーを活用した賃貸経営オーナーのためのプラットフォームを開発

STEP 1

会員登録する



各種マーケティング施策とプラットフォームからの流入による会員登録

STEP 2

投資する



投資用物件を選択 / コンシェルジュによる収支シミュレーション / 物件の購入

STEP 3

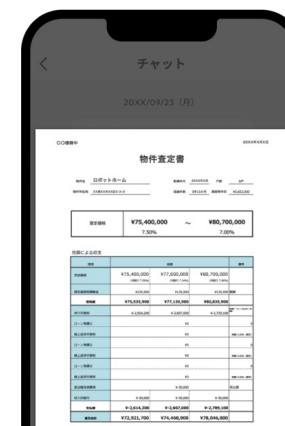
経営する



入居状況の可視化 / 入退去連絡確認 / 修繕の発注管理 / 入金管理

STEP 4

売却 / 再投資する



資産運用コンシェルジュサービス / 売却シミュレーション / 新規物件の購入

プラットフォームへの流入

STEP 1
会員登録する

STEP 2
投資する

STEP 3
経営する

STEP 4
売却/再投資する

各種マーケティング施策を通じたプラットフォームへの流入により会員が増加
リードアプローチによる育成



ワンストップ資産形成

STEP 1
会員登録する

STEP 2
投資する

STEP 3
経営する

STEP 4
売却/再投資する

オンラインで購入～土地契約・施工～引き渡しまでワンストップ

・オンライン相談

土地を選ぶ → 物件を選ぶ → コンシェルジュによる収支シミュレーション

・土地を選んで契約・引き渡し

事業計画書の策定 → 土地情報の提供 → 弊社と土地の契約

・工務店マッチング～施工・建物引き渡し

提携工務店のご紹介（又は弊社請負） → 契約 → 施工状況の進捗レポート



賃貸経営の状況はアプリで管理

STEP 1
会員登録する

STEP 2
投資する

STEP 3
経営する

STEP 4
売却/再投資する

robothome

入退去に関わる手続きがアプリで全て完結



退居受付
募集開始



工事内容確認



募集状況



入居受付



オンライン契約



※イメージUIを含みます。

オーナー数 2,280 名

(2025年9月末時点)

売却や再投資のサポート

STEP 1
会員登録する

STEP 2
投資する

STEP 3
経営する

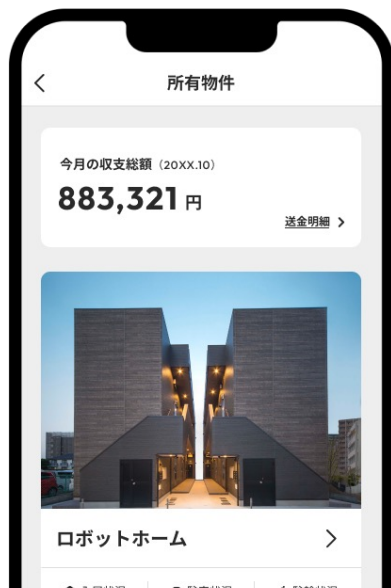
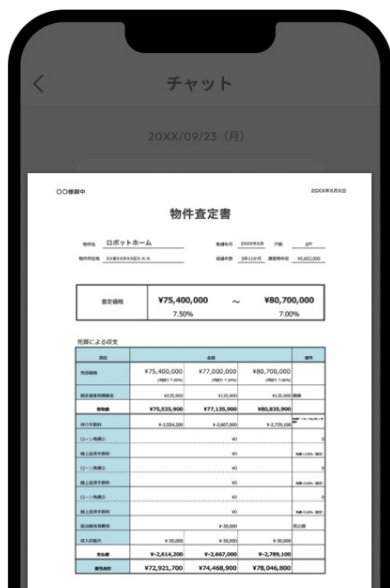
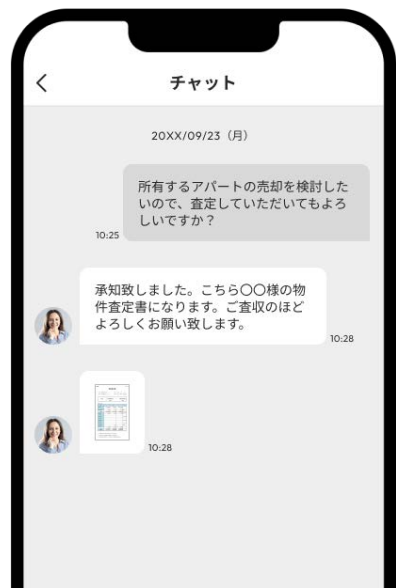
STEP 4
売却/再投資する

オーナー様の資産形成をサポートし、プラットフォーム内の流通を促進

チャットで相談

迅速に査定

売却・再投資



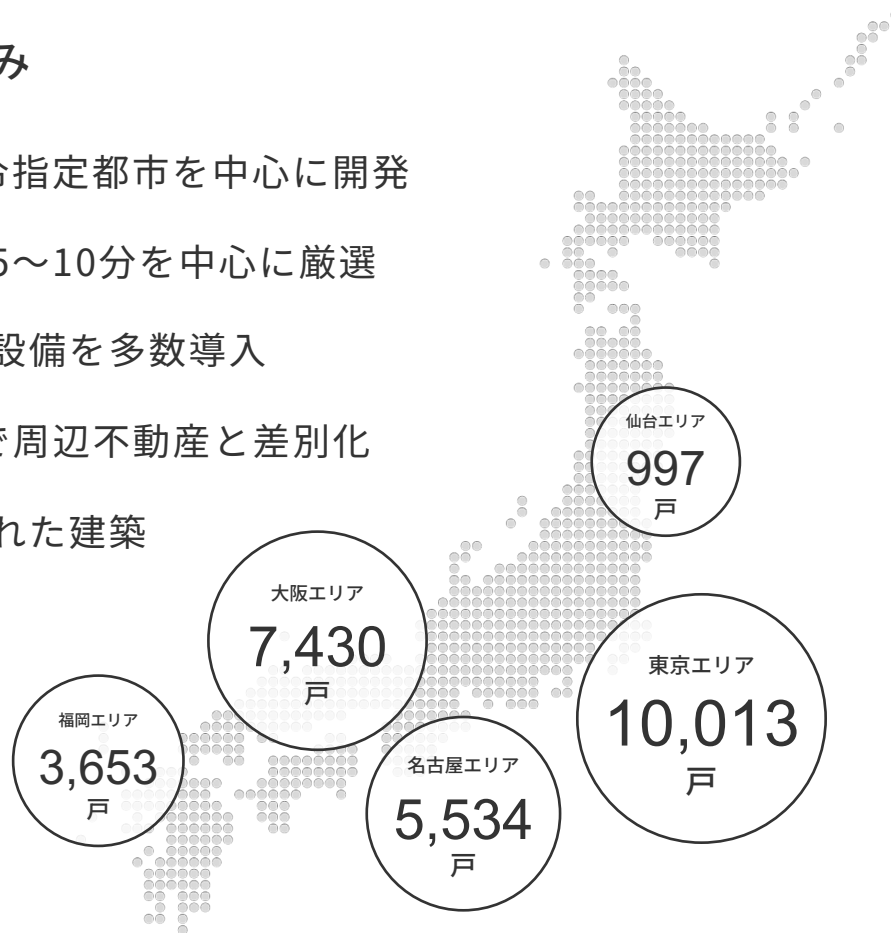
➡ フロー&ストックのさらなる拡大へ

全国規模で展開、需要の高いエリアを厳選

テクノロジーを活用することで、質の高い金融商品を開発。

当社商品の強み

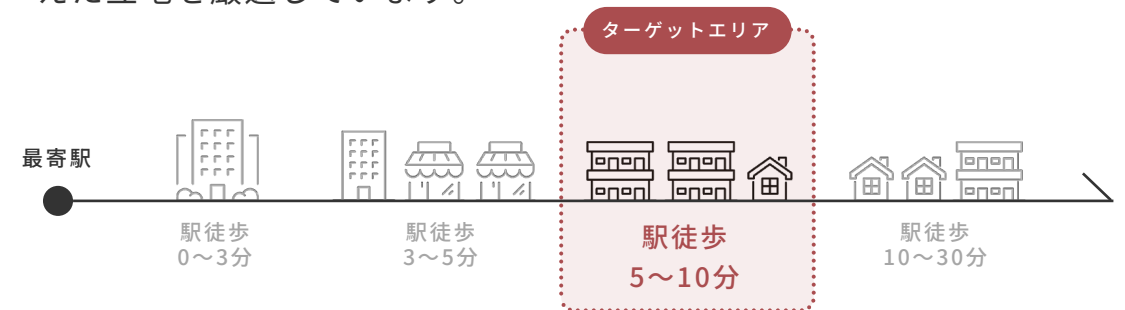
- 5大都市、政令指定都市を中心に開発
- 最寄駅から約5～10分を中心に厳選
- 入居者の人気設備を多数導入
- IoT標準搭載で周辺不動産と差別化
- 環境に配慮された建築



※2025年9月末時点

厳選した立地での開発

駅徒歩5～10分のエリアをターゲットに、利便性と収益性を兼ね備えた立地を厳選しています。



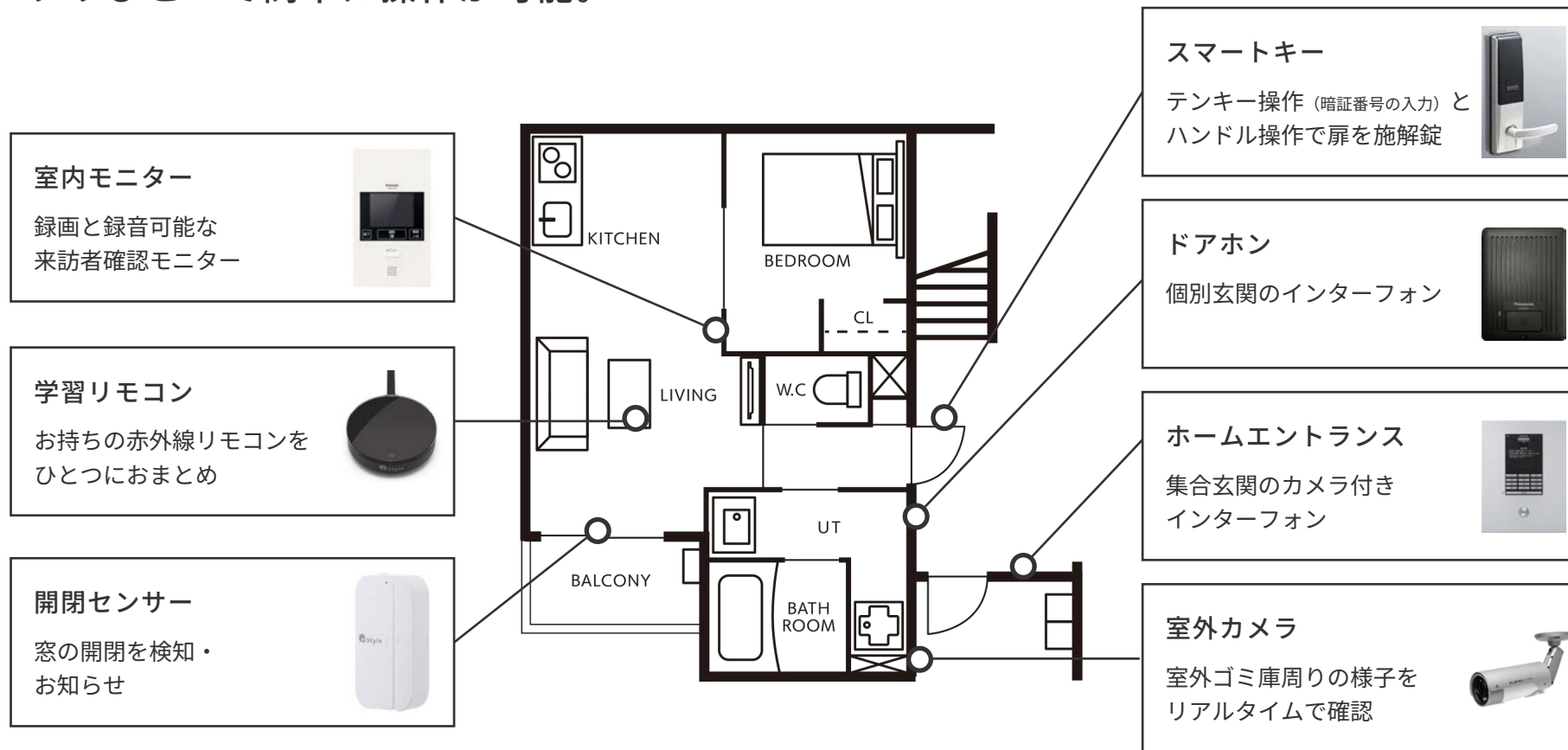
環境に配慮された建築

「建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)」の「3つ星」の取得や、Nearly ZEH-Mの開発など、環境に配慮した不動産開発も行なっています。

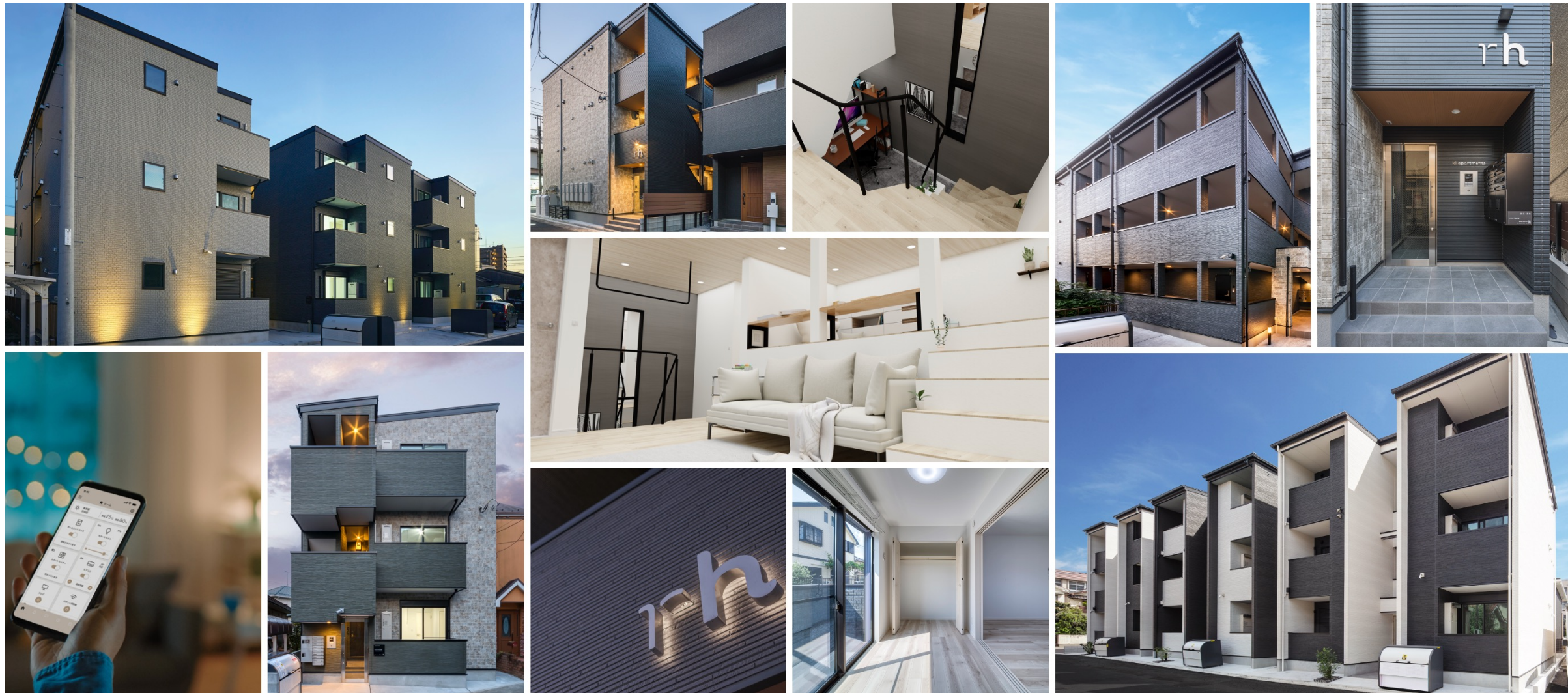


IoTで差別化された賃貸住宅

物件には入居者の生活利便性を向上させる様々なIoTデバイスが標準搭載。
アプリひとつで簡単に操作が可能。



IoTで差別化された賃貸住宅

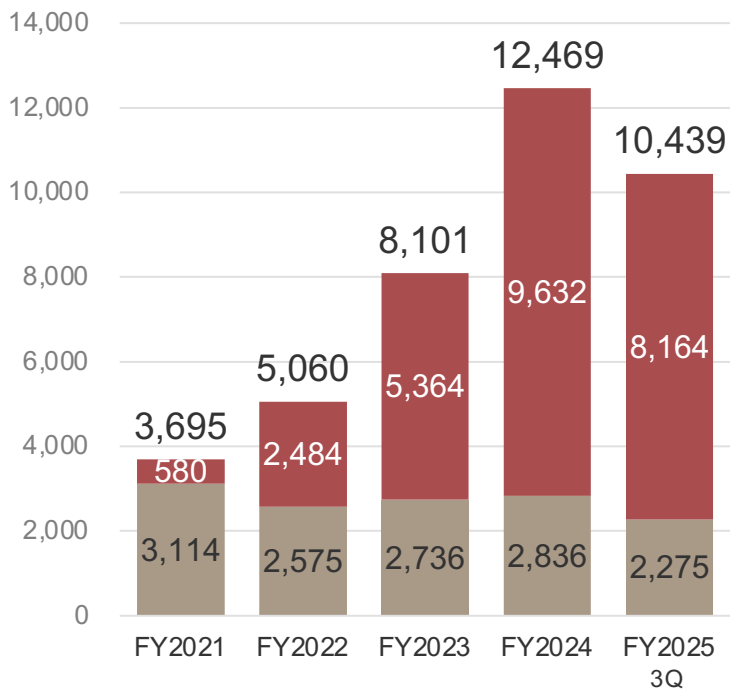


robot home事業の業績推移

robot homeセグメントFY2025 3Q売上高は10,439百万円（前年同期比+39.0%）。営業利益は1,472百万円（前年同期比▲16.3%）。大型棚卸資産の売却による影響はp.37参照。

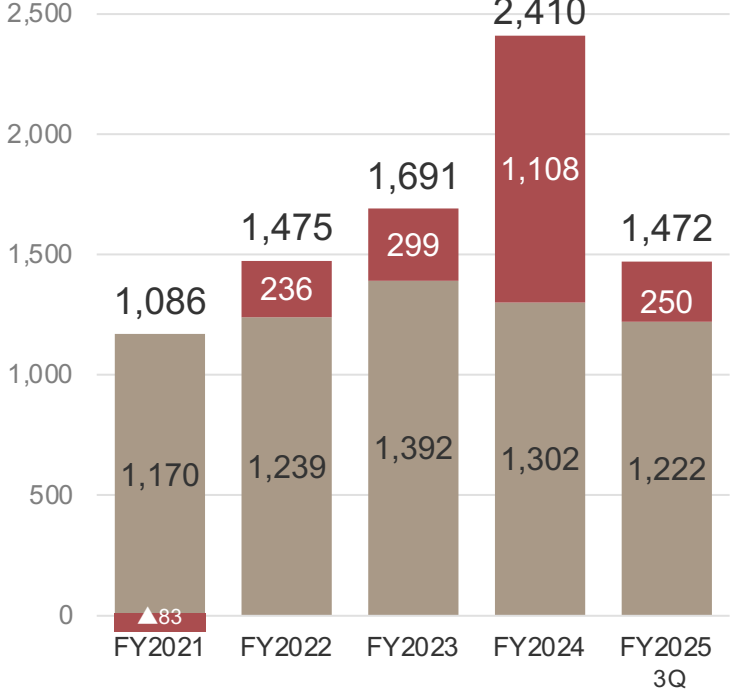
売上高

（単位：百万円） ■ ストック ■ フロー



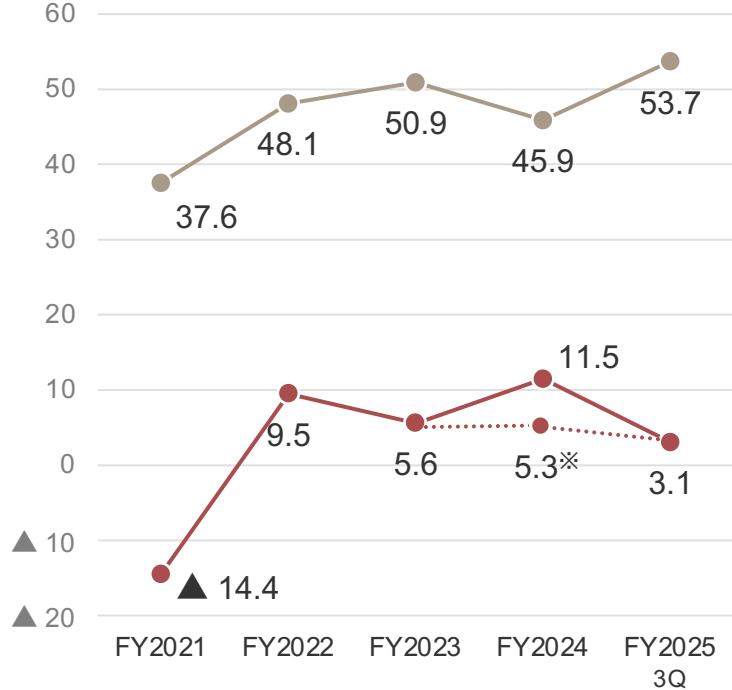
営業利益

（単位：百万円） ■ ストック ■ フロー



営業利益率

（単位：%） ■ ストック ■ フロー



※FY2022以降については、新収益認識基準を適用しております。

※大型棚卸資産の売却による影響を除いた場合

robot home事業の業績

robot homeセグメントFY2025 3Q売上高は10,439百万円（前年同期比+39.0%）。営業利益は1,472百万円（前年同期比▲16.3%）。大型棚卸資産の売却による影響はp.37参照。

（単位：百万円）

	累計期間		
	FY2024 3Q	FY2025 3Q	増減率
売上高	7,511	10,439	39.0%
フロー	5,393	8,164	51.4%
ストック	2,117	2,275	7.4%
売上総利益	2,946	2,746	▲6.8%
フロー	1,172	852	▲27.3%
ストック	1,773	1,894	6.8%
販管費及び一般管理費	1,188	1,274	7.3%
フロー	373	602	61.2%
ストック	814	671	▲17.5%
営業利益	1,758	1,472	▲16.3%
フロー	799	250	▲68.7%
ストック	958	1,222	27.5%

	会計期間		
	FY2024 3Q	FY2025 3Q	増減率
売上高	3,028	5,637	86.2%
フロー	2,329	4,932	111.7%
ストック	698	704	0.9%
売上総利益	871	1,021	17.2%
フロー	308	446	44.6%
ストック	563	575	2.2%
販管費及び一般管理費	398	444	11.5%
フロー	127	221	73.6%
ストック	270	222	▲17.8%
営業利益	473	577	22.0%
フロー	181	224	24.1%
ストック	292	353	20.7%

2024年度 robot home事業における、大型棚卸資産の売却による影響について

大型棚卸資産の売却による影響を除くrobot home事業の業績は以下の通り。一過性の要因を除いた正常値ベースでは、売上高は前年同期比+63.8%、営業利益は前年同期比+34.0%と増収増益を達成。

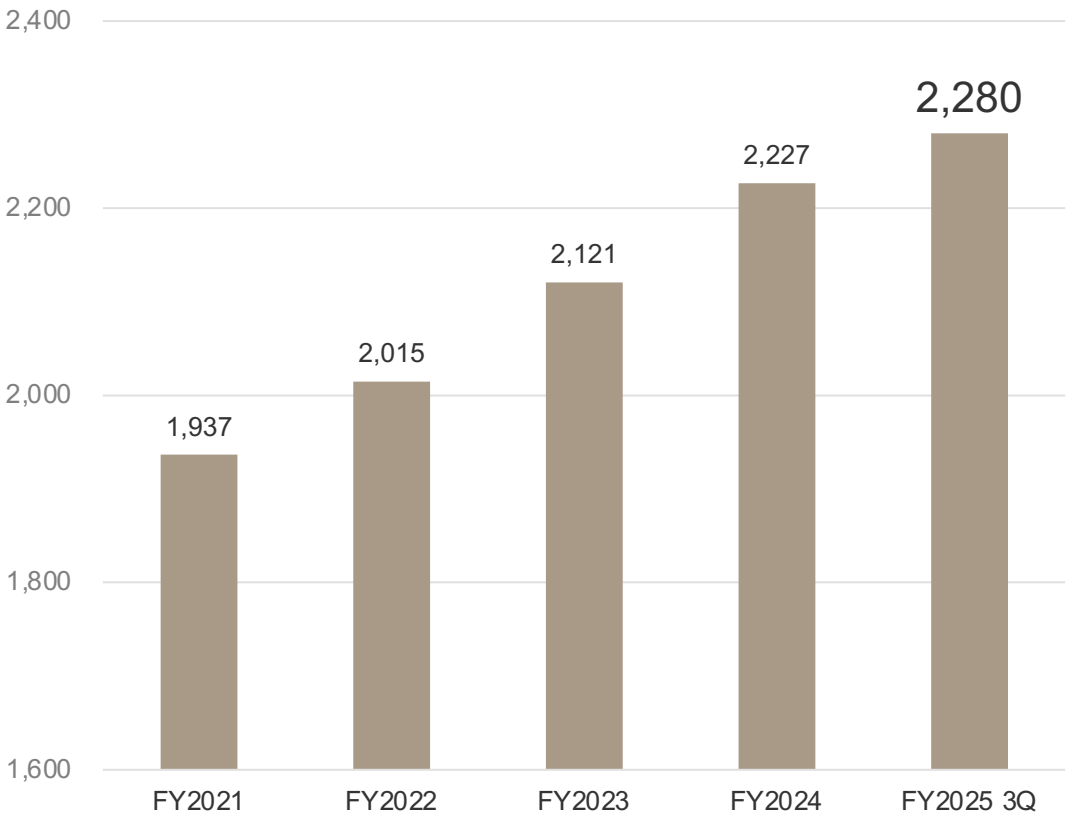
	①	②	① - ②		
(単位: 百万円)	FY2024 3Q	大型棚卸資産	FY2024 3Q ※②売却の影響除く	FY2025 3Q	増減率
売上高	7,511	1,137	6,374	10,439	63.8%
フロー	5,393	1,137	4,256	8,164	91.8%
ストック	2,117	-	2,117	2,275	7.4%
営業利益	1,758	659	1,099	1,472	34.0%
フロー	799	659	140	250	78.6%
ストック	958	-	958	1,222	27.5%

フロー関連KPI

オーナー数の堅調な伸びによる、プラットフォーム内流通の活性化。

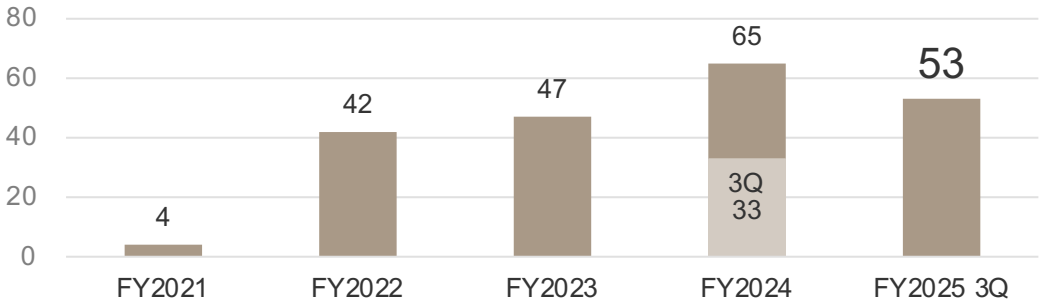
オーナー数

(単位: 名)



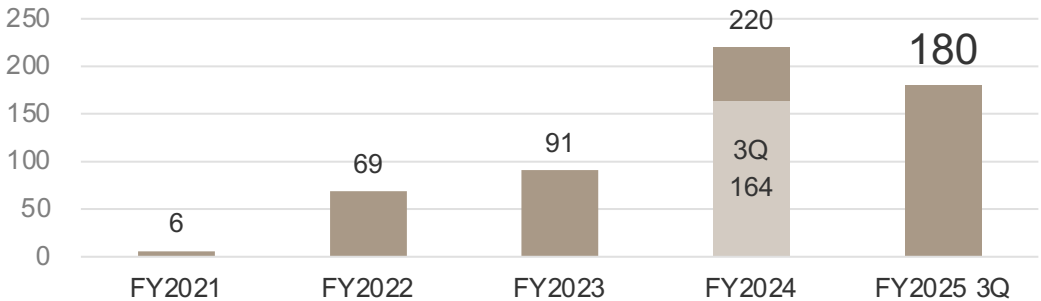
物件引渡件数

(単位: 件)



物件媒介件数

(単位: 件)

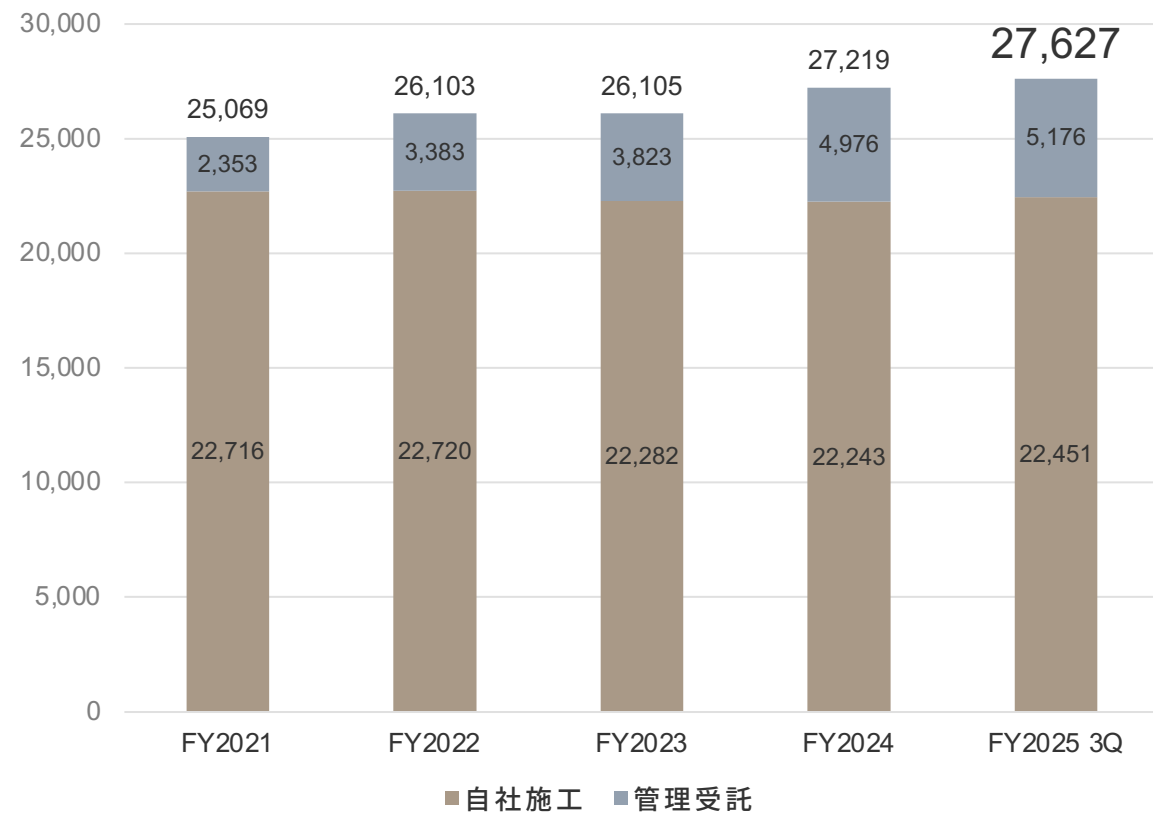


ストック関連KPI

管理受託物件における入居率が上昇傾向。プラットフォームが効果的に機能し、高い入居率を維持。

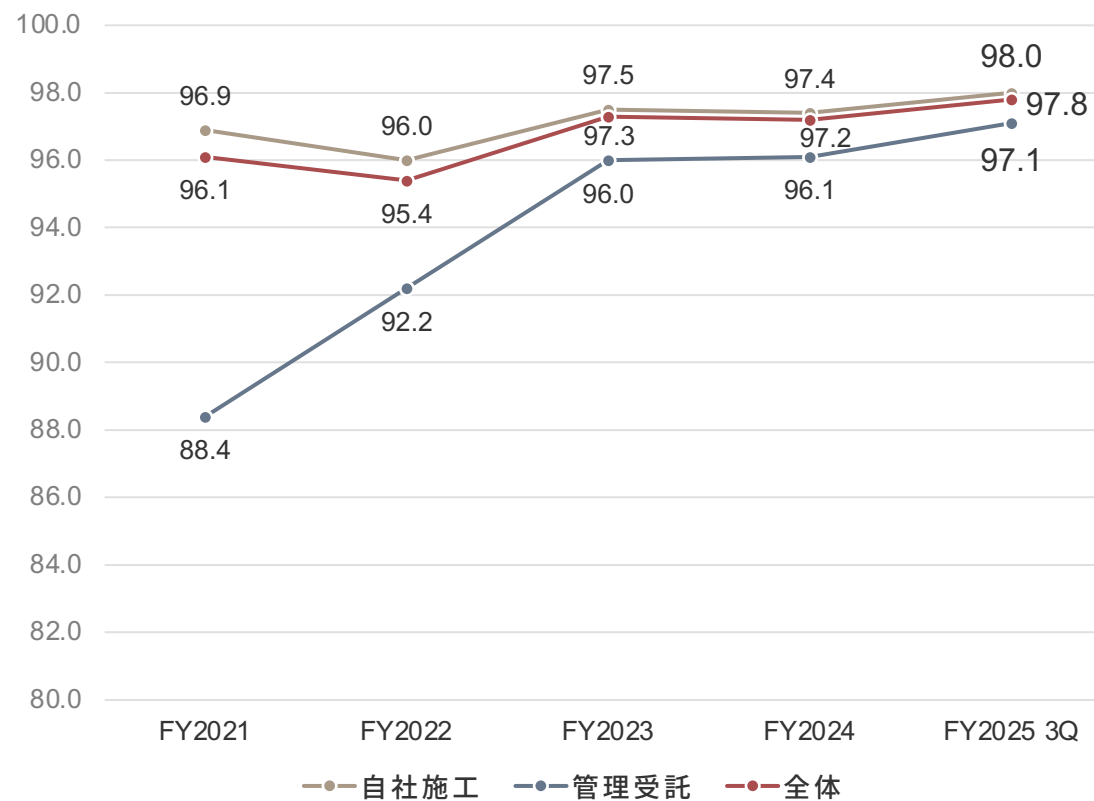
管理戸数

(単位: 戸)



入居率

(単位: %)



3. Appendix

補足資料

3.

財務指標推移（会計期間）

(単位: 百万円)	FY2023				FY2024				FY2025			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	2,171	1,592	1,919	2,942	2,758	2,000	3,196	5,201	1,633	3,380	5,912	-
AI・IoT事業	89	104	115	220	128	161	173	251	81	143	282	-
robot home事業	2,082	1,488	1,804	2,724	2,637	1,846	3,028	4,957	1,558	3,243	5,637	-
フロー	1,333	806	1,140	2,084	1,899	1,165	2,329	4,238	748	2,483	4,932	-
ストック	749	681	664	640	738	681	698	718	810	760	704	-
売上総利益	870	810	774	980	1,466	812	993	1,159	907	978	1,200	-
AI・IoT事業	69	80	92	175	104	108	125	162	63	104	189	-
robot home事業	802	730	682	826	1,366	707	871	996	847	877	1,021	-
販管費及び一般管理費	635	619	697	735	867	847	851	822	901	910	964	-
営業利益	235	191	77	244	599	▲34	142	337	5	67	236	-
AI・IoT事業	31	39	41	129	54	52	56	98	11	54	143	-
robot home事業	481	397	340	472	967	316	473	652	431	463	577	-
フロー	55	49	29	164	613	4	181	309	▲10	35	224	-
ストック	425	347	310	308	354	311	292	343	441	427	353	-
経常利益	228	192	73	243	594	▲33	129	328	171	34	162	-
親会社株主に帰属する当期純利益	351	201	59	273	563	▲33	130	251	167	10	149	-

財務指標推移（累計期間）

(単位: 百万円)	FY2023				FY2024				FY2025			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	2,171	3,763	5,682	8,625	2,758	4,759	7,956	13,157	1,633	5,014	10,926	-
AI・IoT事業	89	193	309	530	128	289	463	714	81	224	506	-
robot home事業	2,082	3,571	5,376	8,101	2,637	4,483	7,511	12,469	1,558	4,802	10,439	-
フロー	1,333	2,139	3,280	5,364	1,899	3,064	5,393	9,632	748	3,231	8,164	-
ストック	749	1,431	2,096	2,736	738	1,419	2,117	2,836	810	1,570	2,275	-
売上総利益	870	1,681	2,455	3,435	1,466	2,278	3,272	4,432	907	1,885	3,085	-
AI・IoT事業	69	149	242	418	104	213	338	500	63	168	357	-
robot home事業	802	1,532	2,214	3,041	1,366	2,074	2,946	3,943	847	1,724	2,746	-
販管費及び一般管理費	635	1,254	1,951	2,686	867	1,714	2,565	3,388	901	1,811	2,776	-
営業利益	235	426	503	748	599	564	706	1,043	5	73	309	-
AI・IoT事業	31	71	113	242	54	107	164	262	11	66	209	-
robot home事業	481	878	1,218	1,691	967	1,284	1,758	2,410	431	894	1,472	-
フロー	55	105	134	299	613	618	799	1,108	▲10	25	250	-
ストック	425	773	1,084	1,392	354	666	958	1,302	441	869	1,222	-
経常利益	228	420	494	737	594	560	689	1,018	171	206	368	-
親会社株主に帰属する当期純利益	351	553	613	886	563	530	661	912	167	177	327	-

事業KPI推移

	FY2023				FY2024				FY2025			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
AI・IoT事業												
IoT導入戸数（全体）	10,659	10,735	10,807	10,945	11,244	11,311	11,550	11,830	12,022	12,183	12,462	-
自社物件	9,313	9,361	9,394	9,472	9,691	9,692	9,849	10,089	10,232	10,356	10,623	-
他社物件	1,346	1,374	1,413	1,473	1,553	1,619	1,701	1,741	1,790	1,827	1,839	-
DX総合支援サービス提供社数	33	37	39	40	43	46	48	51	52	56	59	-
robot home事業												
オーナー数	2,075	2,087	2,099	2,121	2,148	2,172	2,205	2,227	2,263	2,270	2,280	-
物件引渡数（年度累計）	12	20	30	47	8	17	33	65	3	16	53	-
物件媒介数（年度累計）	20	52	68	91	36	91	164	220	56	110	180	-
管理戸数（全体）	26,160	26,066	26,080	26,105	26,319	26,504	26,883	27,219	27,298	27,515	27,627	-
自社施工	22,591	22,499	22,381	22,282	22,290	22,172	22,216	22,243	22,239	22,252	22,451	-
管理受託	3,569	3,567	3,699	3,823	4,029	4,332	4,667	4,976	5,059	5,263	5,176	-
入居率（全体）	97.4%	96.7%	96.7%	97.3%	98.0%	97.4%	97.1%	97.2%	98.4%	98.0%	97.8%	-
自社施工	97.7%	96.9%	96.9%	97.5%	98.3%	97.8%	97.4%	97.4%	98.6%	98.3%	98.0%	-
管理受託	94.9%	94.4%	95.2%	96.0%	96.4%	96.0%	95.6%	96.1%	97.4%	96.8%	97.1%	-

次世代のDX化された賃貸住宅の提供

CASE 01 | ホームエントランス

外出先からでもスマホで来訪者を確認し、鍵の解錠が可能



次世代のDX化された賃貸住宅の提供

CASE 02 | 開閉センサー

侵入経路の多くを占める窓の対策→即時アプリ通達によるセキュリティの向上

自宅の窓に誰かが侵入

窓を
開閉
→

センサーが窓の開閉を検知

アプリに
通達
→通報など
即時対応へ

補足情報

令和6年度共同住宅（3階以下）の侵入窃盗の侵入口は「1位: 表出入口47.6%、2位: 窓38.4%」となっております。

※警視庁発表データより

次世代のDX化された賃貸住宅の提供

CASE 03 | 室外カメラ

防犯対策に有効な室外セキュリティカメラ

● 犯罪行為の抑止効果

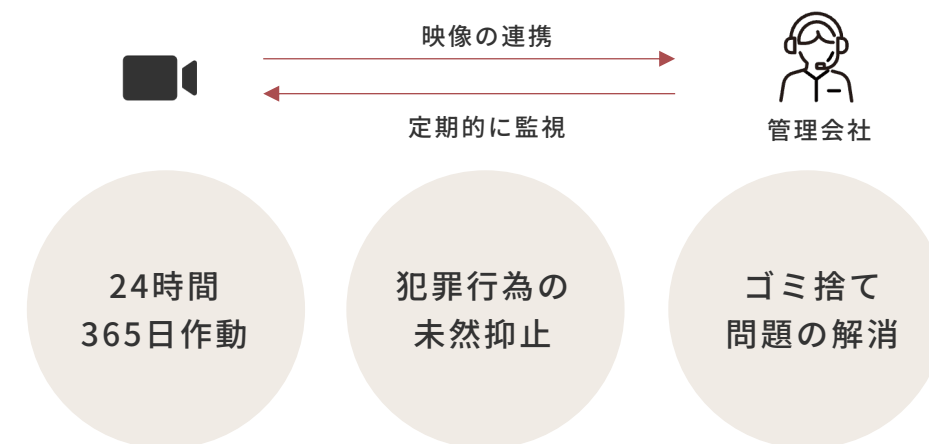
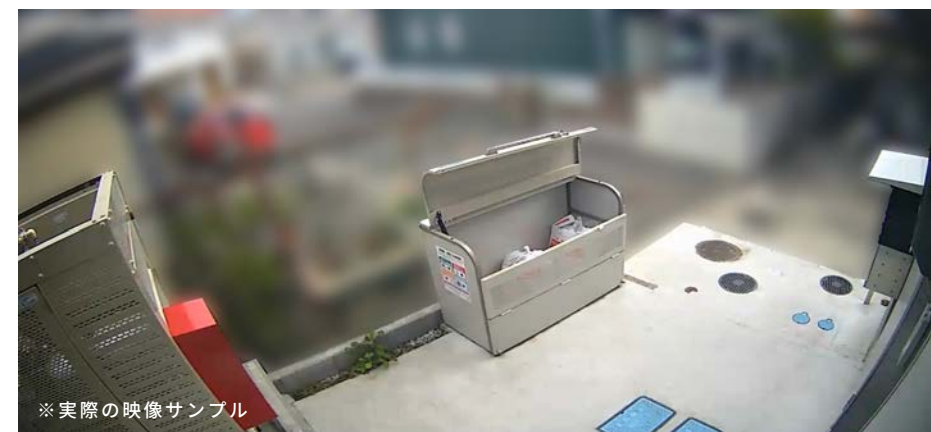
セキュリティカメラがついていることで侵入者が警戒し、犯罪行為を未然に防ぐ効果が期待できます。

● 不審者の特定や証拠映像の保存

敷地内で不審者や侵入者を発見しても、記録された映像や画像により、証拠映像として警察に提出ができます。

● クレームに発展しやすいゴミ庫の監視

ゴミ出しのルール違反や入居者以外のゴミ投棄など、クレームに発展する前に対応が可能になります。



※セキュリティカメラの有無は開発時期により異なります。

次世代のDX化された賃貸住宅の提供

CASE 04 | 学習リモコン

様々な家電をひとつのアプリで操作



照明の操作

室内での操作はもちろん、帰宅途中で照明をつけることでお部屋が特定されず、不法侵入防止の抑止力に。



TVの操作

スマホを見ながらTV操作が可能。チャンネルの切り替えや音量調整だけでなく、番組表の確認も可能。

アプリで操作可能

ご自宅の赤外線リモコンを
ひとつにおまとめ



ロボット掃除機の操作

複数のアプリを立ち上げなくても、赤外線リモコンがついているタイプであればロボット掃除機も操作可能。



エアコンの操作

アプリで室内の温度や湿度を確認し、帰宅前の操作でお部屋を事前に快適な状態にしておくことが可能。

次世代のDX化された賃貸住宅の提供

CASE 05 | チャット

管理会社への問い合わせもストレスフリーに



- 忙しい人でもチャットで
日中のお仕事などで電話ができない状況でもチャットで管理会社に問い合わせることができます。
- 伝わりやすい画像共有
画像の送信も可能なので、電話よりも状況の伝達に便利です。
- ペーパーレスのやりとり
管理会社から入居者様への連絡事項も従来の印刷物ではなく、チャット上でご連絡できます。



次世代のDX化された賃貸住宅の提供

CASE 06 | 入居者向けベネフィット

ベネフィットで日々の生活をより快適に

入居者向けライフスタイルコンテンツとして、日々の生活をより快適にするサービスの特典付きでご用意しております。

暮らしに役立つライフスタイルコンテンツ



医師による医療相談

チャットでいつでも気軽に医療相談を行うことができるサービスです。



宅配型収納サービス

預けたいモノをボックスに詰めて送るだけ！月額110円～のお手軽収納サービスです。



カーシェアリング

使いたい時に、使いたい場所で、カンタンおトクに乗れる。入会キャンペーン実施中！



次世代のDX化された賃貸住宅の提供

便利だけじゃない、選ばれるDX賃貸住宅へ

当社はDX賃貸住宅による新しい暮らしの体験を提供すると同時に、入居が決まりやすい設備を多く揃えております。セキュリティ性などの普遍的な需要と、テクノロジーを活用した新しいライフスタイルに適合したサービスを提供することで、オーナー様に安心して賃貸経営を行なっていただける物件の開発に努めてまいります。

セキュリティに
対する普遍的な需要

新しいライフ
スタイルへの適合

DX賃貸住宅の
可能性

単身者向け物件 人気設備ランキング

順位	設備内容	当社物件仕様
1位（前回1位）	インターネット無料	○
2位（前回4位）	宅配ボックス	○
3位（前回2位）	エントランスオートロック	○
4位（前回3位）	高速インターネット	○
5位（前回5位）	浴室換気乾燥機	○
6位（前回-位）	ペット用設備	—
7位（前回6位）	独立洗面台	○
8位（前回14位）	ガレージ	△
9位（前回7位）	システムキッチン	○
10位（前回15位）	追い焚き機能	○

※全国賃貸住宅新聞（2024年10月）より引用 ※一部未対応の物件もございます

経済産業省指針に基づく「DX認定」を取得

情報処理の促進に関する法律第31条の規定により、
経済産業大臣よりDX認定制度の認定事業者に選定される



• DX認定制度とは (独立行政法人情報処理推進機構:IPA発表資料より)

DX認定制度とは、2020年5月15日に施行された「情報処理の促進に関する法律の一部を改正する法律」に基づく認定制度です。本認定制度では、国が策定した指針(*1)を踏まえ、優良な取り組みを行う事業者を申請に基づいて認定します。

(*1)企業経営における戦略的なシステムの利用の在り方を提示したものであり、本指針の策定は、情報処理の促進に関する法律に基づいています。詳しくは独立行政法人情報処理推進機構：IPAのサイトをご確認ください。

<https://www.ipa.go.jp/ikc/info/dxcp.html>

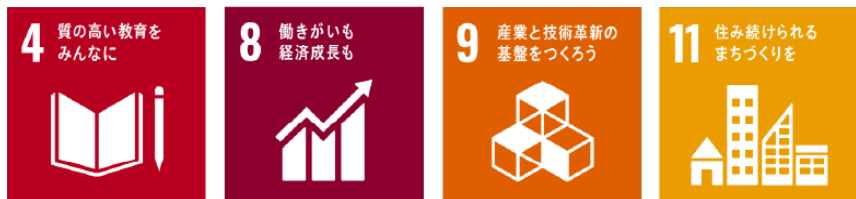
robothome

本制度の認定事業者一覧

<https://www.ipa.go.jp/ikc/info/dxcp-list-202103.html>

当社が取り組むSDGsについて

RPA×人財活用による賃貸管理サービスで、 住みよい街づくりに貢献

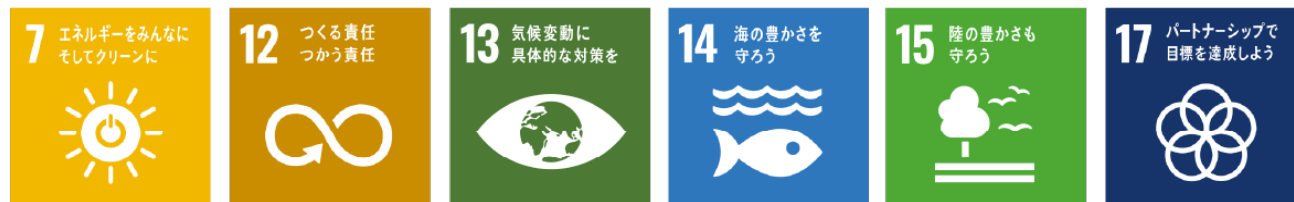


RPAを活用した業務効率化を推進し、より質の高いサービスを提供することで住みよい街づくりに貢献。賃貸管理ビジネスの領域をさらに拡大し、賃貸管理におけるトータルサポート体制を整えることにより、より細やかなご要望に対応すべく、入居者ファーストな体制を構築。



当社が取り組むSDGsについて

省エネルギー性能評価の取得やNearly ZEH-Mなど 環境に優しい不動産開発



国土交通省が定めた評価基準に基づいた第三者機関の建築物省エネルギー性能評価制度（Building-Housing Energy-efficiency Labeling System「BELS」）において、高い基準をクリアした物件の開発やNearly ZEH-Mの開発など、環境に配慮した不動産開発も行なっています。

BELSとは、2016年4月に施行された建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（建築物省エネ法）において不動産事業者等に表示するよう努めることが求められている建築物について、5段階評価（再エネ設備の無い場合）で省エネルギー性能を評価し認証する公的制度の一つです。



当社が取り組むSDGsについて

多様性・創造性を尊重した ダイバーシティ経営の推進



女性社員比率44.5%、女性育休取得率100%、有給休暇消化率73.0%と、高い水準を維持（2024年12月末時点）。デュアルキャリア社員やグローバル人材も活躍しており、従業員の多様性・創造性を尊重し、個人のライフプランに寄り添い安心して働くことができる職場づくりを推進。



将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。

これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内、及び国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。